令和８年６月号

川崎市中央療育センター通所　広報委員会

ちっちゃい

は～ぁと通信

は～ちゃん　　あとくん

令和8年度が始まりました。当センターをはじめてご利用いただく皆様、継続してご利用いただいております皆様、今年度もよろしくお願いいたします。

今年度も広報委員会より皆様に、ちっちゃいは～ぁと通信を年4回お届けする予定です。ぜひご覧ください。今回は、「センターだより」（通所所長よりメッセージ）、「地域支援部だより」、「通園部だより」です。

今年度は担当記事の組み合わせを昨年と変更しています。どうぞお楽しみください。

センターだより

社会福祉法人同愛会が川崎市の指定管理を受け、2011年4月に中部地域療育センター（現：中央療育センター）運営を開始してから16年目、2026年4月より指定管理第4期目がスタートしました。これもひとえに、皆様からのセンター運営への温かいご理解・ご協力によるものと心より感謝申し上げます。

これからも、お子さんお一人おひとりの発達のペースを大切に、お子さんが安心して過ごせる環境づくりと、お子さんの様々なチャレンジを後押しし発達を促していけるような支援を目指してまいります。皆様と一緒に、お子さんの成長を見守りながらたくさんの変化を見つけていきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。　　（川崎市中央療育センター　通所所長　時任　奈穂子）

こんにちは！地域支援部です！

私たちソーシャルワーカーは、中央療育センターの相談窓口です。

０歳～18歳までの発達に気になる点や課題があるお子さんとそのご家族が、安定した家庭・地域生活を過ごせるよう、相談支援を行います。

私たちは、子育てやお子さんのことについて、ご家族とともに分かちあい育てあうことを前提に、ご家族からの相談を丁寧に受けることがとても大切だと考えています。

初回の相談から、実際の療育や専門的支援が開始するまでの流れをできる限り簡素化し、効果的な支援ができるよう心がけます。また、日々の生活の中の育児へのとまどいや困りごとを一緒に考えていきます。

□スタッフ

６名のソーシャルワーカーが担当します。

地域によって担当が決まっています。お気軽にご相談ください！

通園だより

通園クラスが始まり2ヶ月が経とうとしています。初めて通うお子さんや新しいクラスに進級してドキドキしていたお子さんたちも少しずつ笑顔が見られ、好きな遊びを見つけて活動を楽しめるようになってきています。今回はセンターでの療育に用いられる様々な場所や遊具の紹介をしたいと思います。

室内プール

スヌーズレン

園　庭

運動ホール

※これらの写真は一例で日々ねらいに応じた設定がされています。

通園は遊びを中心としながら生活全般の支援をしています。親子で様々な遊びに取り組む中で人に対しての興味関心を広げ、意欲やコミュニケーション力を育て、日常生活が過ごしやすくなるような支援のあり方を保護者の方と考えていきます。感覚運動遊びの活動を中心としながら人に対する受け入れを広げるとともに、適した感覚入力を行い、特性に応じた支援で発達を促していきます。